



三菱地所株式会社、ドイツ証券株式会社を単独主幹事に超長期の国内公募債発行

【2007年6月1日、東京】— 三菱地所株式会社（所在地：東京都千代田区、取締役社長：木村恵司）は、本日、ドイツ証券株式会社（所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：デイビッド・ハット）を単独主幹事として、第80回無担保社債（担保提供制限等財務上特約無）を成功裡にローンチした旨を発表しました。

今回三菱地所株式会社が発行した期限 20 年の超長期国内公募債は、発行総額 100 億円、利率は年 2.305%で、償還期限は 2027 年 3 月 19 日となっています。発行価額 100 円（額面）、払込期日は 2007 年 6 月 8 日です。

また、本社債は、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インクから Aa3（ダブル A スリー）、株式会社格付投資情報センターから AA（ダブル A）、スタンダード&プアーズから A（シングル A）の格付けを取得しています。

ドイツ証券株式会社の取締役兼グローバル・マーケットズ統括本部長であるヘンリー・リショットは、「今回三菱地所株式会社にとって 2004 年 10 月以来、約 2 年 8 ヶ月ぶりとなる超長期の国内公募債で主幹事を務めることができたことを大変嬉しく思います。国内機関投資家による超長期債への需要は強く、生命保険会社や信託銀行、投資顧問、諸法人など幅広い投資家から強い需要を得、良好なタイミングで起債を執行できました。また、この度の起債により、20 年までのクレジットカーブ形成に貢献できたことで、まさに本案件は、発行体ならびに投資家の双方のニーズに応えることができた案件と言えます」と述べています。さらに「この度の起債は、ドイツ証券株式会社が三菱地所株式会社の起債で単独主幹事を務めた 6 回目の案件になります。今後も顧客企業の財務・経営戦略に沿った幅広いニーズにお応えできるよう、内外の資本市場で培った経験とノウハウを積極的に活用していく所存です」と話しています。

以 上

ドイツ銀行グループは、グローバル市場で主導的な地位を占める投資銀行であり、個人顧客ビジネスにおいても収益を生む強固な事業基盤を確立しています。ドイツおよび欧州における圧倒的な強みを背景に、北米やアジア、主要新興国において、力強い成長を遂げています。ドイツ銀行グループの総従業員数は7万3,114人にのぼり、世界73カ国で幅広い金融サービスを提供しています。ドイツ銀行グループは、競争の激化するグローバルな市場を舞台に、常に前進を続けるお客さまのニーズに徹底的にお応えしていくことが、株主の皆さまに価値を創造し、私たち自身の成長につながると考えています。

日本においては 1,201 名の従業員を擁し、ドイツ証券株式会社（代表取締役社長：デイビッド・ハット）、ドイツ銀行東京支店（在日支店代表兼東京支店長：相内 泰和）、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長：関崎司）、DB 信託株式会社（代表取締役社長：北瀬 啓治）を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

<この件に関するお問い合わせ先>

広報部

www.db.com/japan